

日大豊山水泳部の軌跡 11

平成 9(1996)年、から平成 11(1998)年まで、日大豊山高校水泳部はインターハイ 3 連覇を成し遂げる。



平成 9 年、15 年ぶりに 4 度目のインターハイ総合優勝を飾ったのは京都である。



中心となったのは、アテネオリンピック代表として200m個人メドレーで6位入賞を果たした森隆弘氏(写真中央)である。

200m・400m個人メドレーで優勝を果たした。

左は書道家の破留氏。



平成 10(1997)年は、香川インターハイで待望の 2 連覇、5 回目の総合優勝を
果たした。

50m 自由形で優勝した竹内佑仁をはじめとし、リレー 3 種目で優勝を果たした。



そして、インターハイ 3 連覇、6 回目の総合優勝は岩手インターハイである。

200m バタフライで木場瞬介、100m 背泳ぎで菅野貴規が優勝、リレーも全種目を制覇、400m リレーは高校新記録を更新した。

快挙!

新記録樹立!

400mリレー
3分32秒25

加藤木場
菅野長高

高校新

種 類 場 位 名 前 学 年・組

400mリレー	優 勝	日大豊山高校(東京)	3年 A組
400mリレー	2 位	近大附属高校(大阪)	3年 A組
400mリレー	4 位	報徳学園高校(兵庫)	3年 A組
400m	優 勝	日大豊山高校(東京)	3年 A組
400m	5 位	近大附属高校(大阪)	3年 A組
400m	8 位	報徳学園高校(兵庫)	3年 A組
400m	2 位	日大豊山高校(東京)	3年 A組
400m	3 位	近大附属高校(大阪)	3年 A組
400m	優 勝	日大豊山高校(東京)	3年 A組
400m	4 位	近大附属高校(大阪)	3年 A組
400m	優 勝	日大豊山高校(東京)	3年 A組
400m	8 位	近大附属高校(大阪)	3年 A組

三連覇の瞬間

優勝 日大豊山高校(東京)
2位 近大附属高校(大阪)
3位 報徳学園高校(兵庫)

編集後記



この3年間は日大豊山水泳部にとってまさに黄金時代であった。